



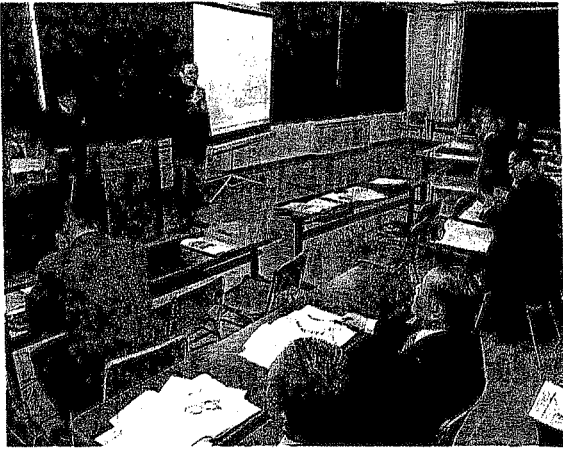
飯田の活性化策を提案

明大のプログラム受講生

明治大(東京)は二十日、飯田市で開講してきた地場産業活性化の人材育成プログラムの成果発表会を、市内の飯伊地域

開いた。牧野光明市長や企業の社長ら約五十人を前に、受講生十四人が四グループに分かれて事業計画を発表した。

地元農産物の活用を考えたグループは、通信販売の顧客管理を一元化する組織をつくり、ブランドの浸透を図る事業を提案。別のグループは、一万人規模の野外音楽イベントを開催し、若者を集めて地元や環境問題への関心を高めてもらう構想を示した。



飯田市で開いた明大の人材育成プログラム受講生の成果発表会

このほか退職した技術者の活用や、地域ブランド確立にかかわる組織の連携を取りまとめる事業の発表があった。

牧野市長は「地域と大学の連携が、新しいものを生み出す人材を育てるという確信が持てた」と述べた。受講生の一人、砂場栄一さん(49)は「意

欲的な人ばかりで刺激になつた。発表で終わりではなく、このつながりを生かし、事業を近い将来、現実にしていきたい」と話していた。

2008年 3月21日 信濃毎日新聞

信濃毎日新聞 2007年 11月 24日 掲載許 0802803